

中西ふみとし通信

第13号

2025年10月
＜中西文寿の議会報告＞

〒355-0814
滑川町みなみ野1-10-21
TEL : 080-7980-8059

9月定例議会報告

ようやく秋の気配を感じる季節となりました。
近隣では秋祭りや運動会などの行事も行われ、
地域のにぎわいを実感する頃かと思います。



この度、9月2日から9月9日までの8日間（実質6日）にわたり開催された第248回定例議会の審議結果をご報告いたします。今回の定例議会では、計21件の議案と3件の認定が提出され、いずれも原案通り可決されました。今回も反対する案件はなく、全てに賛成いたしました。今後も住民の皆さまから寄せられる声を丁寧に受け止め、是々非々の立場で判断してまいります。議会での決定が住民の生活にどう影響するのかを第一に考え、今後も誠実に報告を続けてまいります。詳細についてご興味ございましたら、ぜひお問い合わせください。

＜9月定例議会審議結果＞ 審議の分かれた議案

議案番号	件 名	結果
議案第57号	令和7年度滑川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議定	賛成多数 （賛成11、反対2）
議案第59号	令和7年度滑川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の議定	賛成多数 （賛成11、反対2）
認定第1号	令和6年度滑川町一般会計及び特別会計決算の認定	賛成多数 （賛成11、反対2）

議案審議補足

議案第57号、59号の補正予算の根拠となっているのは、令和8年度から新たに始まる「子ども・子育て支援金制度」です。 重要なので補足します。

制度の目的: 安定的な財源を確保し、少子化対策を強化すること

裏面に続く

公式サイト



Facebook



Instagram



滑川町議会議員 中西文寿

Mail : nakanishi.suppo789@gmail.com

表面からの続き

財源の仕組み: 全世代が社会の宝である子

ども・子育てを支えるという観点から、

被保険者が加入する医療保険の保険料に「子ども・子育て支援金」が上乗せされる形で徴収される。（実質増税と言える）

補正予算の目的: 子ども・子育て支援金を賦課・徴収するために、既存の保険料算定・収納システムの改修をすること

両議案に賛成した理由: 国民健康保険や後期高齢者医療の保険料に「支援金」を上乗せするという**国の制度設計自体は不適切**であると思う。しかし、否決することにより、国保・後期高齢者医療の賦課徴収事務の停滞や国庫補助金の逸失リスク、事務処理の長期的な非効率化が考えられ、**住民と行政の混乱を避ける**という観点から反対できないと判断したもの

一般質問

今回登壇した議員は8名。中西からの質問は以下の通り。

テーマ	質問	回答	所見
1	観光推進	①谷津沼農業システムの現在の具体的な取組と今後の計画はどうなっているのか	町では①②の取り組みに加え、東松山・比企広域観光推進協議会がJAFやNEXCO東日本と連携したイベントを開催するなど、観光振興に積極的に取り組んでいる。しかし、せっかくの優れた企画も、それが多くの方に伝わらなければ、「宝の持ち腐れ」となり、税収への貢献にも繋がらない。今後は、広報戦略のあり方を早急に研究・確立していく必要がある
		②谷津の里・伊古の里はどのように活用するのか	
		外国人に伊古の里を紹介する素晴らしいYouTube動画があるが町のホームページからはたどり着けない。質の高いコンテンツを多くの方に視聴して貰える方策はあるか	
2	歩行が困難な方に優しい施設とは	町役場正面玄関のスロープは勾配が急で車いすでの利用は危険だが、設置目的は何か。また階段を安全に利用できるように手摺りを設置できないか	滑川町役場庁舎は、昭和56年に建築され、正面玄関中央のスロープは当時の基準で設置されている。手摺りの設置可否については今後、調査、研究をしたい
		レンガ舗装の歩道は路面がガタガタしているため、車いすやベビーカーでの通行が困難であるとの意見がある。この状況について、どのように認識されているか	
		バリアフリー化を更に進めるためには当事者の声や視点を取入れることは重要。職員が実際の不便さを疑似体験することを検討できないか	

※表内の文字が小さくなっており、読みづらくて申し訳ありません。詳しい内容は、表紙のQRコードからアクセスできる「公式サイト」の「お知らせPDF」でもご覧いただけます。